静岡県近代史研究会

会　報

9月
2026年10日
月刊第576号

会　　告

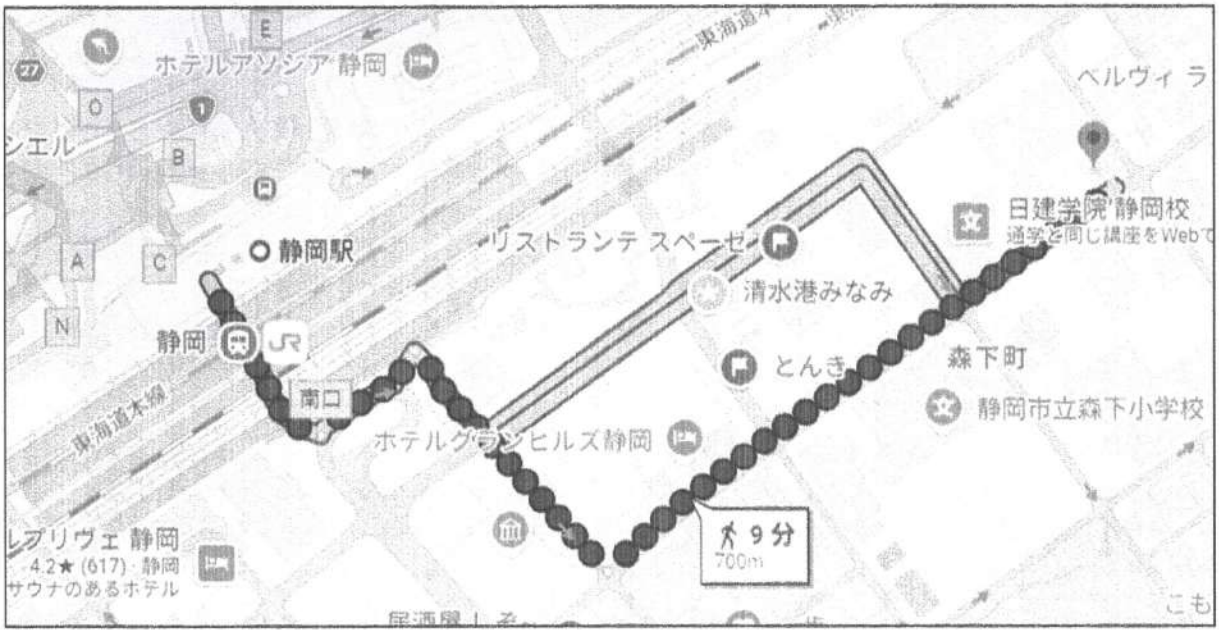
静岡県近代史研究会会員　各位

静岡県近代史研究会　会長　森山優

2026年度総会を次のとおり開催します。

1　日　　時：2026年10月12日（月・スポーツの日）13:20～14:00

2　開催場所：鎌倉文庫（対面）／zoomでのオンライン開催を併用。
　鎌倉文庫の所在地：静岡市駿河区森下町4　森下ビル4階



出典）Google Mapsにより作成。

3　内　　容：会務報告、会計報告、会務方針案、予算案、次年度役員案の審議・採決。

4　議 案 書：当日、会場（鎌倉文庫）で配布します（zoomでも画面共有）。

総会に引き続き、次の要領で記念講演会を開催します。

1　日　　時：2026年10月12日（月）14:30～17:00

2　講　　師：**小林丈広氏**（同志社大学文学部教授、本会会員）

3　演　　題：**「地域史研究との向き合い方」（仮）**

かし、1929年5月、呼吸器の病気で他界した。まだ20代であった。
あやめがアナキズムに近寄り、労働運動社に関わったのは、宗一の「カタキ」をとるためであった。また惣三郎建立の墓碑の「犬共ニ虐殺サル」は、惣三郎の近代天皇制国家への心底からの抗議であった。
本書は、惣三郎、あやめを軸に、甘粕ら殺人者たち、大杉の長女・魔子、和田久太郎ら同志たちの事件後の動きにも言及し、「甘粕事件」の全貌を明らかにしながらその意味を浮き彫りにしていく。著者の田中は、「「甘粕事件」を新たな視点、着想、気づきなどで物語っていく記憶の再生には、だから終わりはない。」と書いている。
軍隊や警察が、市民の人権を踏みにじる動きが頻繁に見られる現在、この「甘粕事件」は何度も振り返らなければならない。わたし達は、2023年まで静岡で大杉らの墓前祭を挙行してきたが、しかしそれ以後も9月16日には有志で墓参し、また「沓谷だより」にかえて「沓谷から」を発行し続けている。
本書は、現代に於ける「甘粕事件」の意味を問いかけるものとなっている。本書の巻頭には、ハン・ガンの「歴史的事件を扱うことは、過去について語る方法を探し出し、現在について語るということです。歴史を見つめて問うことは、人間の本性について問うことでもある。」が掲載されている。
本書には、著者である田中伸尚の「甘粕事件」に対する熱い思いが凝縮されている。それに応えたいと思う。

（2026年3月31日　小池善之）

例会のお知らせ

＜9月例会＞
日時：9月19日（土）14:00～17:00
場所：Web会議システムZOOM/鎌倉文庫
申込方法：本誌3ページをご覧ください。
内　容：「史料の“その後”」をどうするか？
　　―冤罪事件「丸正事件」史料群保存活動（2019-2026）の事例から
報告者：船津かおり氏（会員）

＜10月総会・記念講演会＞
日時：10月12日（月・スポーツの日）
　　13:20～14：00総会
　　14:30～17:00記念講演
場所：Web会議システムZOOM/鎌倉文庫
講演講師：小林丈広氏（同志社大学部教授）
演題：「地域史研究との向き合い方」（仮）
※1ページの会告をご覧ください。

＜会報に原稿をお寄せください＞
会報原稿を募集しています。下記のアドレスにメールで送ってください。但し、掲載号については会報編集担当者にお任せください。どうぞよろしくお願いいたします。
メールアドレス：cqh00053*nifty.ne.jp
（*は＠に変えてください。
会報編集担当　川上）
※会費納入について、同封資料で御確認ください。

静岡県近代史研究会会報 第576号（月刊）
2026年9月10日
非売品　（非会員は印刷実費100円）
連絡先 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1
静岡県立大学 国際関係学部 森山優研究室
電話：０５４－２６４－５３８６（直通）
年会費：4,500円（メール会員は3,500円）
ゆうちょ銀行払込口座：00850－6－54573
ホームページ：
https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com/